



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 菱電商事株式会社  
 コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 正垣 信雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 宇野 悟  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5396-6111

平成29年12月8日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	111,711	8.8	2,043	147.8	2,236	290.0	1,521	409.8
29年3月期第2四半期	102,650	△7.3	824	△55.4	573	△68.9	298	△70.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,961百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △880百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.17	69.96
29年3月期第2四半期	13.77	13.74

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	127,250	62,496	49.0	2,876.79
29年3月期	122,763	60,975	49.6	2,809.01

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 62,410百万円 29年3月期 60,911百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
30年3月期	—	11.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と表示しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,500	3.8	3,600	31.9	3,700	51.5	2,500	80.1	115.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	22,824,977 株	29年3月期	22,824,977 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,130,571 株	29年3月期	1,140,608 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	21,689,218 株	29年3月期2Q	21,675,617 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第77期定時株主総会決議に基づき、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

- (1)平成30年3月期の配当予想  
1株当たり配当金 期末 11円00銭
- (2)平成30年3月期の連結業績予想  
1株当たり当期純利益 通期 57円63銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国が堅調な推移を見せる中、欧州及び中国でも景気回復傾向にあり、新興国においても緩やかな景気の持ち直しが見られています。しかしながら、一方では地政学リスクによる世界情勢への影響など懸念材料もあり、依然先行き不透明な状況にあります。

国内経済においては、輸出が好調に推移し、雇用環境の改善や設備投資も堅調な推移が見られるなど緩やかな回復基調が続いています。

当社グループの取引に関する業界は、設備関連が軟調でしたが、FA関連や産業機器関連、省エネルギー関連が好調となり、自動車関連でも欧米向けが堅調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、事業環境の変化に適応した「グローバル・ソリューション・プロバイダー」として事業強化を進める中、顧客に徹底的に寄り添い、顧客ニーズを基点とした価値を創造し、顧客や市場における当社グループの存在価値を高め、収益性の向上を図るため、昨年度に新中期経営計画「CE2018 (Challenge & Evolution 2018)」を策定しており、当年度はその中間年度として、顧客ニーズに基づく提案活動を更に積極的に進めております。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,117億11百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益20億43百万円(前年同期比147.8%増)、経常利益22億36百万円(前年同期比290.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億21百万円(前年同期比409.8%増)となりました。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました菱商電子諮詢(深圳)有限公司は清算終了(平成29年1月20日)したため、連結の範囲から除外しております。

なお、清算終了時までの損益計算書については連結しております。

セグメントの業績は次のとおりです。

## ①FAシステム

【当第2四半期連結売上高209億30百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益7億27百万円(前年同期比72.3%増)】

自動車関連設備案件については横這いで推移しましたが、工作機械、実装機及び半導体・液晶関連製造装置向けが好調に推移、また販売ルート向け案件も増加し、大幅な増収となりました。

## ②冷熱システム

【当第2四半期連結売上高120億41百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益1億68百万円(前年同期比27.8%減)】

大都市を中心とした大手設備業者向け案件は軟調でしたが、冷凍・冷蔵の低温分野及び環境・省エネ性能対応のリプレース需要が堅調に推移し、増収となりました。

## ③IT施設システム

【当第2四半期連結売上高25億66百万円(前年同期比35.7%減)、営業利益8百万円(前年同期比87.1%減)】

情報通信分野のセキュリティ関連は堅調でしたが、ビルシステム分野の基幹商品であるエレベーター関連及び医療分野における医療機関の設備投資が低調に推移し、大幅な減収となりました。

## ④エレクトロニクス

【当第2四半期連結売上高761億73百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益11億39百万円(前年同期比1,010.8%増)】

国内では、自動車関連の欧米向け生産が増加し、産業機器関連では工作機械、実装機及び半導体・液晶関連製造装置など東アジア向けFA関連ビジネス、並びにエアコンを中心とした白物家電関連ビジネスが好調に推移し、大幅な増収となりました。

海外子会社では、北米地域での自動車関連製品の販売が堅調に推移し、また中国地域での産業機器関連ビジネスが好調に推移したため、大幅な増収となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が44億45百万円、受取手形及び売掛金が27億34百万円減少しましたが、商品及び製品が56億52百万円、電子記録債権が31億90百万円増加したこと等により資産合計は前連結会計年度末比44億87百万円増加し、1,272億50百万円となりました。

負債の部は、電子記録債務が19億96百万円、支払手形及び買掛金が1億54百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比29億66百万円増加し、647億54百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を19億61百万円、配当金を4億77百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比15億21百万円増加し、624億96百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比0.6ポイント減少し、49.0%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比34億55百万円減少し、157億7百万円の残高となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は、22億45百万円（前年同期比77億36百万円支出増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益22億36百万円の計上と、売上債権・たな卸資産・仕入債務の増加によるネット資金の減少40億17百万円によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、2億31百万円（前年同期比14億29百万円支出増）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得による支出2億46百万円、投資有価証券の売買によるネット支出38百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、8億69百万円（前年同期比88百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払4億77百万円、短期借入金の減少3億90百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成29年9月25日に公表いたしました数値から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,168	14,722
受取手形及び売掛金	55,832	53,097
電子記録債権	9,586	12,777
有価証券	—	1,414
商品及び製品	18,670	24,322
その他	3,973	5,222
貸倒引当金	△200	△23
流動資産合計	107,030	111,532
固定資産		
有形固定資産	4,883	4,803
無形固定資産	658	674
投資その他の資産		
その他	10,615	10,831
貸倒引当金	△425	△591
投資その他の資産合計	10,190	10,240
固定資産合計	15,732	15,717
資産合計	122,763	127,250
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,529	41,683
電子記録債務	10,489	12,485
短期借入金	761	364
未払法人税等	263	828
その他	2,996	3,582
流動負債合計	56,039	58,944
固定負債		
退職給付に係る負債	4,579	4,601
その他	1,168	1,208
固定負債合計	5,748	5,809
負債合計	61,787	64,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,392	7,399
利益剰余金	42,705	43,750
自己株式	△855	△849
株主資本合計	59,576	60,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,003	2,518
為替換算調整勘定	661	490
退職給付に係る調整累計額	△1,329	△1,234
その他の包括利益累計額合計	1,334	1,774
新株予約権	63	86
純資産合計	60,975	62,496
負債純資産合計	122,763	127,250

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	102,650	111,711
売上原価	92,303	100,191
売上総利益	10,347	11,519
販売費及び一般管理費	9,522	9,476
営業利益	824	2,043
営業外収益		
受取利息	26	25
受取配当金	66	75
為替差益	—	61
持分法による投資利益	23	16
その他	125	101
営業外収益合計	242	279
営業外費用		
支払利息	21	14
売上割引	50	46
為替差損	358	—
売上債権売却損	20	19
その他	42	6
営業外費用合計	493	86
経常利益	573	2,236
特別利益		
投資有価証券売却益	73	—
特別利益合計	73	—
特別損失		
関係会社株式評価損	53	—
特別損失合計	53	—
税金等調整前四半期純利益	593	2,236
法人税等	295	714
四半期純利益	298	1,521
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	298	1,521

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	298	1,521
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	515
為替換算調整勘定	△1,278	△171
退職給付に係る調整額	66	95
その他の包括利益合計	△1,178	439
四半期包括利益	△880	1,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△880	1,961
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	593	2,236
減価償却費	268	245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	4
受取利息及び受取配当金	△93	△101
支払利息	21	14
持分法による投資損益(△は益)	△23	△16
売上債権の増減額(△は増加)	2,132	△514
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,233	△5,705
仕入債務の増減額(△は減少)	73	2,203
その他	848	△559
小計	6,059	△2,193
利息及び配当金の受取額	117	111
利息の支払額	△21	△13
法人税等の支払額	△663	△148
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,491	△2,245
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	953	—
有形固定資産の取得による支出	△171	△63
有形固定資産の売却による収入	1	2
無形固定資産の取得による支出	△37	△183
投資有価証券の取得による支出	△242	△198
投資有価証券の売却による収入	589	159
短期貸付金の増減額(△は増加)	△51	△16
その他	156	68
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,197	△231
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△215	△390
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△563	△477
財務活動によるキャッシュ・フロー	△780	△869
現金及び現金同等物に係る換算差額	△857	△109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,050	△3,455
現金及び現金同等物の期首残高	16,660	19,163
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	12	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,723	15,707

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱 システム	IT施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,846	11,919	3,992	67,892	102,650	—	102,650
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	0	△0	—
計	18,846	11,919	3,992	67,892	102,650	△0	102,650
セグメント利益(営業利益)	422	232	67	102	824	—	824

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA システム	冷熱 システム	IT施設 システム	エレクト ロニクス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,930	12,041	2,566	76,173	111,711	—	111,711
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	—	0	0	△0	—
計	20,930	12,041	2,566	76,173	111,711	△0	111,711
セグメント利益(営業利益)	727	168	8	1,139	2,043	—	2,043

## 3. 補足情報

ご参考までに、前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(78.2%) 80,276	(9.8%) 10,037	(7.7%) 7,940	(2.7%) 2,796	(1.6%) 1,599	(21.8%) 22,374	(100.0%) 102,650

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）

## 【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
(78.4%) 87,614	(10.1%) 11,301	(7.3%) 8,119	(2.8%) 3,087	(1.4%) 1,587	(21.6%) 24,097	(100.0%) 111,711

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。